

情報化施工の推進について

北海道開発局事業振興部機械課施工環境係長 澤口 重夫

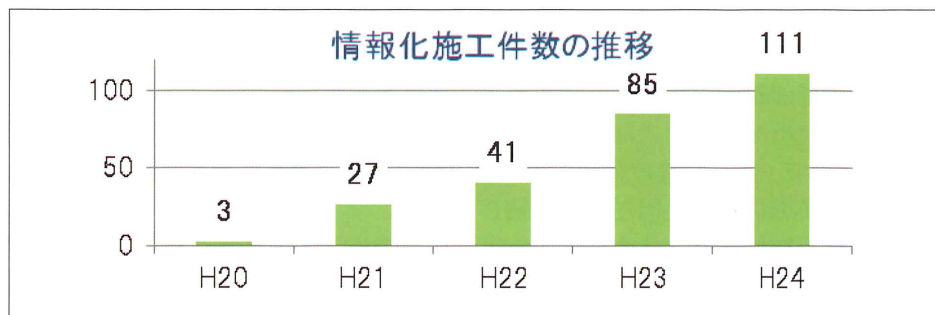
1. はじめに

平成25年3月に新たな「情報化施工推進戦略」が策定され公表されました。この推進戦略では、中長期的な目標となる情報化施工の目指す姿を明らかにし、建設事業の課題と情報化施工への期待、情報化施工を巡る現状を整理し、推進戦略の期間となる平成25年度から5年間に大きな柱として推進する目標とその達成に向けて取り組む5つの重点目標と10の取り組みが設定されています。また、国土交通省から「情報化施工技術の使用原則化」も通知されています。このように情報化施工の普及推進も新たな目標と取り組みで進めて行く必要があります。

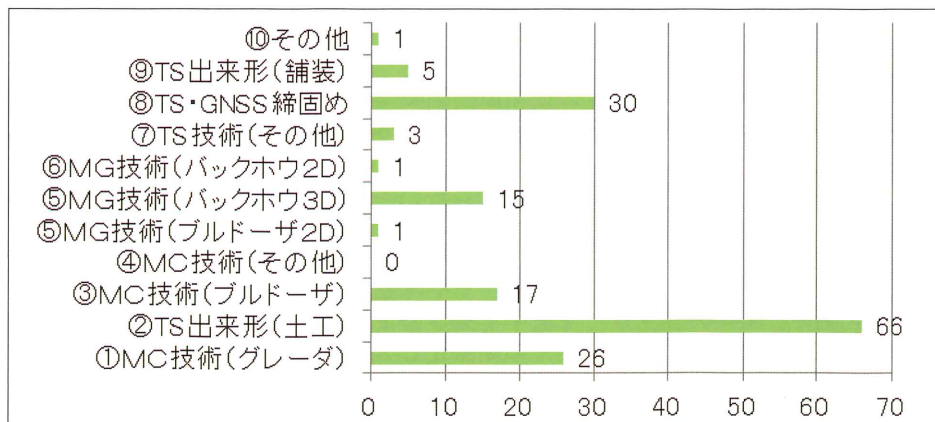
北海道開発局の情報化施工の活用状況、日本建設機械化施工協会北海道支部に発足する情報化施工の普及推進に関する情報提供などを行う「情報化施工推進連絡会(仮称)」について紹介します。

2. 北海道開発局の情報化施工活用状況

情報化施工活用件数の推移を見ますと平成20年度は3件であった施工件数も平成24年度には111件で、この5年間で大幅に活用されています。



北海道開発局の情報化施工活用工事件数(年度別)



平成24年度 北海道開発局での情報化施工活用技術件数

平成24年度の技術別の活用状況は、今年度「使用原則化技術」の対象になった「トータルステーション(TS)による出来形管理技術(土工)」の活用件数が多い状況となっています。

続いて、「TS・GNSSによる締め固め管理技術」であり、施工管理に用いる技術が多く活用されている傾向にあります。施工に係わる技術では、「MC技術(モータグレーダ)」、「MG技術(バックホウ)」が活用されています。



MC技術(モータグレーダ)



GNSS締め固め管理技術

3. 情報化施工推進連絡会(仮称)の発足について

北海道における情報化施工の普及促進に寄与することを目的に「情報化施工推進検討ワーキング」が平成21年3月に日本建設機械施工協会北海道支部内に発足しました。このワーキングでは、情報化施工に係る情報発信・提供、技術講習会の開催などを行い北海道の情報化施工の普及促進に寄与してきました。また、平成25年度の情報化施工技術の一般化が円滑に実施できるよう取り組みを進めてきたところ、平成25年3月に国土交通省から示された「情報化施工技術の一般化」を踏まえ、ワーキングの目標を達成できたことから、ワーキングの活動を終了することとしました。しかし、ワーキングの活動が終了しても情報化施工の普及推進を図って行く必要があります。平成25年度以降も情報化施工に関わる情報発信などが行えるように土木会社、測量機器会社、建機メーカー、リース・レンタル会社等を構成メンバーとする「情報化施工推進連絡会(仮称)」が日本建設機械施工協会北海道支部内に発足し、今後も情報化施工の普及を進めていきます。また、新たな「情報化施工推進戦略」の重点目標になっている「地方公共団体への展開に関する重点目標」を踏まえて、連絡会事務局には、北海道建設部にも加わって頂いています。

4. おわりに

情報化施工は情報通信技術を利用し建設事業の生産性の向上、施工品質の向上などを図る技術であり、情報化施工が北海道内に広く普及していくよう今後も情報化施工推進連絡会(仮称)の活動などを通じ情報提供等を行っていきたいと思います。

平成25年度 第1回情報化施工推進連絡会開催のご案内

旧情報化施工推進検討WG委員を対象として平成25年度情報化施工推進連絡会を下記のとおり開催いたします。

開催日時 平成25年11月6日(水) 14:00~16:00

開催場所 さつけんビル6階会議室(JCMA北海道支部入居ビル)
札幌市中央区北3条西2丁目 TEL011-231-4428

主な議題

- ・平成25年度情報化施工推進連絡会活動方針について
- ・平成25年度における北海道開発局の情報化施工の取り組み
- ・推進連絡会事務局体制(案)について